



第 1766 回例会

平成 25 年 11 月 18 日 (月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

会員卓話 「台湾・彰化東南 RC 訪問の報告」
国際奉仕委員長 桑添 剛 君

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 51 名 出席者数 26 名
出席率 50.98% 前回修正出席率 86.27%

4. 会長スピーチ 副会長 山畠 弥生 君

本日は、小椋会長が所用の為、
お休みとのことで代理としてス
ピーチさせて頂きます。

昨日は、社会奉仕活動の一環
として、早朝より紀美野町下
佐々で道路清掃が行われました。
柳生社会奉仕委員長さん初め、
参加された皆さん、ご苦労様で
した。この活動の報告について
は、委員長より 12 月 9 日の例会で報告して頂く予定
ですので宜しくお願ひ致します。

さて、こうして壇上に上がり、お話させて頂くのも
本当に久しぶりですが、改めて会場を眺めてみて、か
なり会員さんが少なくなった寂しく感じます。私が、
入会させて頂いたのは、2000 年 7 月でしたが会員数
が 70 名位だったように記憶しています。そんな大勢
の会員さんの中での新入会員卓話イニシエーション
スピーチは、凄く緊張しました。又、名前を覚えるの
も大変でしたが、兎に角、活気があり和気藹々とした
雰囲気の中での例会だったように思い出されます。
会員減少に歯止めを掛けようと、毎年、R I や地区か
らも会員増強を強く求められています。当クラブでの
IDM でも、毎回会員増強が議題の一つとしてあがって
いますが、その反面「むやみに増強するはどうか?」
と言う意見が必ず出ます。つまり質か? or 量か? と
言う話になります。質とは、何をもって言うのか?
「新会員へのオリエンテーション」の本の中に「入会



審査の目標として」と題して、解りやすく解説された
文章があるので紹介致します。①地域で職業を代表して
評判のよい人②必ず例会に出席できる性格と健康の持
ち主、自分の時間の裁量ができ、出席条件の整った人
③人格の立派な人で社交性に欠けないこと④地域の指
導者たり得る意欲的な職業人で将来性のある人
⑤地域社会で奉仕活動をしている人と書かれています。
勿論、このように優秀な方が居れば是非とも入会して
頂きたいのですが、私など入会時には、この様な審査を
受けると恐らく何も満たしておらず、一番会員数の多い
時に、よく入会できたものだと思ってしまいます。
そんな中で、今年の 8 月に地区からクラブ定款の改
正についての速報が送信されてきました。その文面に、
2013 年 4 月に開催された規定審議会で採択された
会員資格条件が含まれおり、要約すると、その内
容は、定年退職された人、それから、子供の世話 又
は、夫の仕事の手伝いの為に仕事を中断した人、又は、
同じ理由の為に仕事をしたことがない人であること。
つまり職業を持たない専業主婦でも入会資格がある
と言うことだと思うのですが? (クラブ定款改正是、
今年の 7 月 1 日施行) この様な案件が採択されたとい
うことは、女性ロータリアンである私には、大変嬉しく
大歓迎ですが、当クラブが、この定款にそって会員
増強していくとするならば、クラブの細則(例えば入
会金や会費等)を、大きく改正して行かなければなら
ないとかと考えます。然しながら、ロータリアンと
しての意識は、温故知新を念頭に置き、何時とて、人
と人との繋がりを大切に、人を思いやる心を育て、個々
に奉仕できる人格を育てる修練道場であって欲しい
と思います。

5. 幹事報告 幹事 大谷 徹 君

○例会臨時変更のお知らせ

粉河 RC 12 月 3 日 (水) → 12 月 3 日 (水)
12:30~ 紀の川市商工会
「クラブ総会」
12 月 11 日 (水) → 12 月 11 日 (水)
12:30~ 紀の川市商工会
「友」を読んで
12 月 18 日 (水) → 12 月 18 日 (水)
18:30~ H グランヴィア和歌山
「忘年家族例会」

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 小椋 孝一 幹事: 大谷 徹 S A A: 重光 孝義

○休会のお知らせ

粉河 RC 12月 25 日 (水)

6. 委員会報告

○社会奉仕委員会

委員長 柳生 享男 君

昨日、11月 17 日 (日) 海草郡紀美野町において、清掃活動として、紀美野町下佐々地区内のバイパス道、約 4 キロをロータリーメンバー15 名が、二班に分けて一斉に空き缶、空き瓶、ペットボトル、その他のごみの回収を行いました。また、メンバーの一人は見た目には、道路の脇にはまったくゴミなど落ちていないと思った。よく見てみると草むらには結構空き缶、空き瓶、ペットボトルが散乱していました。皆さんも車中からのゴミ等は捨てない様にして欲しいです。



7. 会員卓話(1) 「台湾・彰化東南 RC 訪問の報告」

国際奉仕委員長 桑添 剛 君

台湾の彰化東南 RC 訪問は、10月 17 日から 19 日に当クラブ会員 10 人、家族及び社員の方々 6 人と計 16 人で訪問し例会に出席してまいりました。出発前日までは色々と気を遣いましたが、皆様方の御協力のおかげでなんとか無難に役目をこなせたのかなと思っています。すでに彰化東南 RC に訪問されている当クラブのメンバーが多くいらっしゃいますが、いつもながらの歓迎ぶりで、今回、初めて訪問された方々は、さぞびっくりされた



ことと思います。日本、日本人は、「おもてなし」で世界的に有名になりましたが、台湾の彰化東南 RC を見ていますとなんだか逆のようを感じられました。

例会場に入る時は、両端に並んだメンバー及び奥様方、関係者の皆様方の拍手で迎えられて席に着きました。例会が始まり、いつも通り互いの紹介から両クラブ会長の挨拶が始まりました。我クラブの小椋会長の通訳なきせの格調高い、長い挨拶も無事に終わり、歓迎会に移りましたが、今回も、料理も豪華でした。特に会員の奥様方が、ステージで肌もあらわに悩ましいダンス等披露して頂き、カメラを向けるのも恥ずかしく感じました。また、男性のメンバーはステージで、カラオケや楽器演奏等、長時間に渡り聞かせて頂き大変恐縮しました。

その後、2次会に誘われましたが、今回は次の日のスケジュールもありお断りすると事前に皆で打ち合わせをして端いたのですが、度重なるお誘いに断り切れなくて、5~6 人でカラオケに参加してまいりました。

次の日は、登山組の花田さん、林さん、阪口さん、嶋倉さんの 4 人は玉山に登る予定でしたが、前日ヘリコプターの墜落事故があり、入山禁止になりました。ですが、一日置いて別の景色のきれいな山に登山されたそうですので、後ほど花田さんから報告があります。



ゴルフ組は、深谷さん、小椋会長、通訳の孔さんと私の 4 人でした。エントリーして頂いた時間が遅かったものですから、観光組の

人達と台北で夕食会を予定していて予約していたものですから、もし間に合わなかつたら悪いと思いキャンセルしようということになっていたのですが、せっかく彰化東南 RC の皆さんのが段取りしてくれて、しかもスタート時間を早めてくれましたので予定通りプレー出来ました。結果、彰化東南 RC の 5 組で私共のコンペになりました。プレー後、表彰式で商品ま

で用意して頂きパーティーまでして頂いき、大変恐縮しています。また、無事に新幹線に間に合いまして、観光組と無事に合流することができました。それから、観光組の人達は、台中のホテルを朝早く出発し昼前に台北に到着し、あらかじめ予約しておいた有名な小籠包の総店へガイドに案内してもらいましたが、後で、大変おいしかったと聞き、段取りした私もしたかいがあったと喜んでいます。それから、市内観光で有名な101タワービル等に行かれたそうで、その後私達ゴルフ組4人とリージエントホテルで合流しました。それから、予約しておいたレストラン、これも日本人観光客に有名な店なのですが、観光組の方々は、お昼、少々食べ過ぎたようで、あまり食が進まなかつたように見えたのが少し残念でした。食事の後、台北の屋台見学に行く人、ショッピングに行く人、ホテルへ帰る人、様々に解散しました。次の日、最終日は、小椋会長はじめ皆様の方の希望により、アニメの宮崎駿監督の千と千尋の神かくしで有名になった仇分に観光に行きました。NHKで有名になった湯婆婆の屋敷も見学してきましたが、さすがに九分は観光客でいっぱいでした。その後昼食でおいしい飲茶を頂き、帰国のために空港へ向かいました。

2泊3日の短い旅行でしたが。ご参加の皆様の御協力のおかげで無事に終了することができました。本当に有難う御座いました。この後、花田さんからスライドを使って、例会の様子、登山の様子等報告して頂きます。私はこれで終わります。

8. 会員卓話(2) 「11月は ロータリー一財団月間」

ロータリー財団委長 花田 宗弘 君



らの年次寄付と大口寄付から成り立っています。

各ロータリアンからの寄付額は任意ですが、ロータリー財団としては世界平均で毎年 \$ 100/人を目標としています。日本は比較的裕福なので今まででは \$ 200 を目標としてきました。

我がクラブとしては今まで具体的には\$50を年会費から支払いし、任意寄付で\$100～200をお願いしてきました。今年からは財団の補助金制度が大きく変わりましたが、国際的な奉仕活動は止まったわけではありませんので是非\$100の任意寄付をお願い致します。具体的には台湾からもフィリピンからも国際プロジェクトのパートナーになって欲しい旨依頼が来ています。

ロータリー財団の資金の利用法は、まず、寄付金を3年間資金運用した後、その50%を地区に戻してきます。地区はその半分の25%を要求に応じてクラブに

地区補助金として分配します。この補助金はクラブの裁量で奉仕活動に自由に使用することができます。残り 25%はグローバル補助金 (DDF) とし



て使われます。グローバル補助金は2カ国以上が協力して行う国際的なプロジェクトで、総額\$30,000以上で次の重点6項目に当てはまる必要があります。①平和と紛争予防/紛争解決②疾病予防と治療③水と衛生④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の発展です。

ロータリー財団からは DDF に対して 100%、現金に対して 50% の補助金が出ます。事業内容として地域社会への奉仕活動の他に、職業研修チームの派遣および受け入れ (VTT)、奨学生の派遣等にも使用可能です。

9. 閉会点鐘

次回例会

第 1767 回例会 平成 25 年 11 月 25 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話

2013-14年度ガバナーエレクト 辻 秀和 様



ニコニコ・BOX

山畠 弥生 君 先週の夜間例会と昨日の道路清掃
風邪のため欠席してすみません。阪
口さん、乾杯の音頭して頂きありが
とうございました。

大谷 徹 君 11月17日清掃作業参加頂き、あり
がとうございました。

柳生 享男 君 過日の道路清掃、ありがとうございました。

吉田昌生 君 熊野古道士周年記念展に出品します



公益財団法人

日一社日本財團平成 24 年度事業報告

理事長 千 玄室 氏

「世界でよいことをしよう」という国際ロータリーのロータリー財団と同じ目標を持つ公益財団法人ロータリー日本財団は、世界の7カ国にあるロータリー財団の協力財団の1つとして、次のような目的と目標を持っております。第一に、ロータリー日本財団への寄付増進、第二に、



皆さまの寄付が税制上の優遇措置を得られるようになりますこと、そして、第三には、ロータリー財団プログラムを支え、サービスを拡大することあります。

当法人は、故岩井敏初代理事長以下、関係各位のご尽力により、2010年12月に内閣府から公益財団法人の認定を受け、3年目を迎えることとなりました。私は、昨年7月に急逝されました岩井敏初代理事長



の推進のため、惜しみなく真摯なご協力をいただきましたことに、心から感謝を申し上げます。当法人の特徴の1つは、ロータリアンだけでなくノンロータリアン、そして、法人の皆さんにも寄付いただけることです。また、ほぼすべての種類のご寄付に、税制上の優遇措置を講じて受け入れ可能なことです。とりわけ私たち、全世界の地区、クラブ、ロータリアンが、本年度から新しい補助金制度を開始する、ロータリー財団にとって歴史的な機会に遭遇しています。その新しい制度を形にするためには、私たちが力を合わせて、ロータリー財団を、支えて、支え続ける必要があります。

私は、ロータリアン、ノンロータリアン、そして、法人の皆さんに、世界でよいことをするロータリー財団の働きのため、本法人の税制上の優遇措置をご活用、そして、ご利用いただきたいと願っております。

ここに、平成24年7月1日より平成25年6月30日までの事業報告をさせていただきます。皆さんには、どうか、本法人の事業報告をご覧いただき、私たちのロータリー財団をより力強くするために、本法人に対してさらなるご理解とご協力をお願いし、ご挨拶といたします。

1. 事業内容

ロータリー日本財団は、世界理解、親善、平和の達成に資する公益事業を行うことを目的としております。本財団の主な事業は奨学金を付与すること、および本財団と目的を同じくする国際ロータリーのロータリー財団への支援を行うことです。

2. 奨学金事業

本財団は個人が海外留学するため、もしくは海外から日本へ留学するためにグローバル補助金奨学金を付与することとしています。グローバル補助金の重点分野の研究に従事することを目的として、この奨学金を利用することが可能になっています。

また、個人が海外留学するため、もしくは海外から日本へ留学するために、ロータリー平和フェローシップの付与も行うこととしています。本ロータリー平和フェローシップは、全世界7校の大学に設置された6つの「平和と紛争解決における国際問題研究のため

のロータリー平和センター」のいずれかで、修士課程または専門能力開発修了証プログラムに参加する資金を援助するものです。平成24年度は、グローバル補助金奨学生1人、ロータリー平和フェロー1人が承認されました。

3. ロータリー財団への支援事業

本財団の事業の一つとして、本財団と目的を同じくするロータリー財団への支援事業を行いました。寄附金は、ロータリー財団の管理の下で、日本を含め全世界約3万4,000のロータリークラブを通じて公益事業に使われております。ロータリー財団は、アメリカに本部を置く非営利法人です。本財団には、平成24年7月から平成25年6月までの1年間で8万7,621件、総額13億2,183万8,223円の寄附が寄せられ、そのうち昨年度の未送金分と合わせて12億7,200万円をロータリー財団へ寄附しています。

世界でよいことをするために

R I 会長 ロン D. バートン 氏

親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーに入会した理由は、人それぞれです。入会を決めた理由と、ロータリーにとどまっている理由が異なるというのもよくあります。私がロータリーに誘われ、それを受けたのは、地域社会と関わりあうのに良い方法だろうと思ったからです。しかし、ロータリーの奉仕で、結局のところ本当に私がかき立てられたのは、入会した時には知らなかつたロータリー財団でした。



私は、自分が所属しているアメリカ・オクラホマ州にあるノーマンロータリークラブを通して、沢山のよい活動ができるのことを知っていました。しかし私たちの財団を通して、世界中のどのクラブ、どの地区の活動であれ、参加することができるのです。財団が支援するプロジェクト、財団プログラム、そしてボリオが撲滅された国を見て、言うことができます。「私はそれを支援しました」と。一度、ロータリー財団の価値を認めたら、その考えが後退することはありませんでした。私は、長年にわたり、驚くほどたくさんのロータリー財団による活動を直接見る機会に恵まれてきました。活動を見れば見るほど、財団に対する私の情熱は高まってきた。もし皆さんがあなたの学校へ行き、世話をされ、教育を受け、仕事を教えられている子どもたちに会ったら。そして、その子どもたちの顔を見て、もし私たちの財団がなかったらこの子どもたちは道端で寝て、ごみから食べ物をあさっていただろうということを知ったら財団を見る目が変わるでしょう。

11月はロータリー財団月間です